

漢方関係学会・研究会予定（9月）

これまで新型コロナウイルス感染症の影響下にありましたが、徐々に通常の開催に戻ってきました。この間習得したWeb開催のノウハウを活かしてハイブリッドでの開催が主流になっています。今回は、2024年9月に開催または中止の連絡を頂いた会のみ掲載しております。その他の会にしましては事前に各連絡先または事務局にてご確認下さい。

●第43回産婦人科漢方研究会学術集会

日時 9月1日（日）午前9時～午後4時

会場 ホテル日航福岡（福岡市博多区博多駅前21825）

ハイブリッド開催（現地+Web配信）

オンデマンド配信期間 9月13日午前10時～30日午後5時

会長 加藤 聖子（九州大学医学部婦人科学産科学教室教授）

内容

〔特別講演〕 睡眠の謎に挑む～基礎神経科学から社会実装研究まで～

（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構） 柳沢 正史

〔教育講演〕 おさえておきたい漢方医学の基本的な考え方

～臨床・研究・教育の視点をふまえて～

（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学） 梶山 広明

〔優秀演題ノミネート講演〕

N1 子宮内膜症由来の培養細胞に対する通導散の作用 小林 陽一

N2 PCOSモデルラットにおける漢方薬の内臓脂肪の減少と食欲抑制への影響について 荒田 萌花

N3 当帰芍薬散の多嚢胞性卵巣症候群モデルラットにおける卵胞発育に関連する基礎的検討 上田 真子

N4 漢方補剤を用いたCAR-T細胞療法の効果強化に関する研究 芳川 修久

N5 婦人科がんサバイバーにおける加味帰脾湯の有用性の検討 田浦裕三子

N6 CINに対する薬物焼灼治療TCA療法におけるヨクイニンの効果と腫瘍着を防止する漢方薬 笹川 寿之

〔A会場〕
A1 新型コロナウイルス感染症拡大が更年期症状を主訴に当院を受診した初診患者に及ぼした影響 牧田 和也

A2 柴胡桂枝乾姜湯が有効であった更年期女性12例の検討 徳毛 敬三

A3 更年期障害の動悸を伴う不眠症状に対し柴胡加竜骨牡蛎湯が有効であった3例 粒来 拓

A4 茯苓四逆湯が強い倦怠感だけでなくホットフラッシュにも有効であった1症例 堀江 延和

A5 発汗・のぼせ等を主訴とする60歳以上の女性に対する漢方治療 武田 智幸

A6 桂枝茯苓丸の適用疾患の多様性と原典の条文についての考察 佐藤 泰昌

A7 卵巣摘出による閉経モデルマウスにおける婦人科処方漢方薬の作用 木村 貴博

A8 咽頭異物感に対して柴朴湯が奏効した2例 長谷川祐子

A9 若年世代に対する抑肝散の使用経験～当院での処方例とまとめ 下田 勇輝

A10 若年女性の心身を整える漢方治療3症例～補肝の観点から～ 松岡 竜也

A11 抑肝散による「母児同方」の継続経験 吉岡 郁郎

A12 当院女性ヘルスケア外来における加味逍遙散の効果
精神症状を訴える患者について）
橋元 粧子

A13 不妊治療中の痩せ傾向の女性の疲労感に人參養榮湯を使用した症例
中井 恭子

A14 MRI閉所恐怖症に対して、漢方薬を検査前に内服した9例の臨床経験
中山 毅

〔B会場〕

B1 一般不妊治療における漢方治療の意義
中原 恭子

B2 LEP製剤服用後小脳梗塞となったPCOS症例に、東洋医学的アプローチで、妊娠へ至った症例
田中 秀則
小倉 絹子

B3 産後の下腿浮腫に漢方薬が有効であった症例の検討
河津 雄太

B4 女神散が産後うつに有効だった卵子提供妊娠の一例
鷺 瑞月

B5 産後の不安・抑うつに対し漢方処方とサポート体制の構築で対処できた一例
今井 美成

B6 当院における産後精神不安に対する加味帰脾湯の使用経験
峯積 拓巳

B7 当院における産褥貧血に対する人參養榮湯の使用経験と有効性の検討
川島 皓雄

B8 妊娠中に著明な子宮頸部浮腫を認めた症例に対し五苓散が有効であった一例
清川 晶

B9 妊娠22週発症の加重型妊娠高血圧腎症における漢方薬の効果
伊藤 友理

B10 妊娠中の耳管開放症に対して漢方製剤が奏効した2症例
志水香保里

B11 妊娠悪阻に対して漢方療法が有効であった4症例
石田 倅子

B12 生殖補助医療技術で妊娠成立した妊婦の妊娠悪阻に対する漢方薬の有用性

B13 唾液分泌過多を伴う妊娠悪阻に対して人參湯が奏効した3例
蜂須賀信孝

B14 漢方薬が処方された妊娠に伴う唾液過多(症)の検討
鈴木 俊治

〔C会場〕

C1 低用量ピルのマイナートラブルに漢方治療が有効であった3例
二宮 典子

C2 多嚢胞性卵巣症候群による月経不順に対し当帰芍薬散投与でホルモン異常が改善した1例
近藤 晴彦

C3 13歳の月経困難症に漢方薬が奏効した症例
平嶋 洋斗

C4 身体痛などに着目した柴胡桂枝湯の血の道症に対する有効性について
高村 光幸

C5 月経前症候群の排便コントロール、腹痛等に対して桂枝加芍薬湯が有効であった一例
椎名 美季

C6 月経困難症に伴う便秘と漢方薬
沖 利通

C7 温経湯の臨床使用目標について
堀場 裕子

C8 産婦人科疾患において排膿散及湯が有効であった2例
根津 優子

C9 症例報告・慢性外陰部痛患者の腹診所見の変化と自律神経機能検査との関連について
梶本めぐみ

C10 卵巣広汎性浮腫による骨盤痛に漢方薬が奏効した1例
山崎 峰夫

C11 産婦人科にて原因不明と診断した腹痛に漢方薬を使用した例
木下 哲郎

C12 閉経期の関節症状に対して桂枝加朮附湯を用いた10症例
落合 郁哉

C13 更年期女性のヘバーデン結節・ブシヤール結節による指の痛みへの桂枝加朮附湯の有効性
廣瀬明日香

〔D会場〕

D1 アセトアミノフェンによる異常な発汗が苓姜朮甘湯で冷えを改

善して消失した1例

森 裕紀子

D2 辛温解表薬により下腿浮腫が改善したと考えられる妊婦の1例

山本 健太

D3 間質性膀胱炎の初期症状に対する猪苓湯合四物湯の使用経験

黄 鼎文

D4 婦人科系めまいに対する漢方治療の実際

五島 史行

D5 妊娠中期の貧血に対する鉄剤と人参養栄湯の併用処方の方有用性の検討

高知 佑輔

D6 化学物質過敏症(CS)の病態は水毒が主体で存在し、気・血の異常を誘導する

大澤 稔

D7 レセプト・健診データ等を用いた体質分類予測モデルの構築

佐々木 誓良

D8 子宮摘出術後に発生し持続した消化器症状に対して漢方が奏効した1例

八並 直子

D9 婦人科術後の便秘症に対して、麻子仁丸/潤腸湯を使用した症例の傾向とその効果

横田めぐみ

D10 婦人科痛患者におけるTC療法によるしびれに対する牛車腎気丸の使用経験

野田 拓也

D11 十全大補湯の抗がん剤治療における効果の検討

西郡 高志

D12 乳癌治療による更年期様症状に対して漢方治療が奏効した3例

杉本 大輔

D13 放射線治療中の下痢に半夏瀉心湯を使用した31例の後方視的検討

羽生 裕二

(シンポジウム)
テーマ 令和時代の婦人科三処方を考える

寺内 公一

SS1 古典的婦人科三処方を振り返る

武田 卓

SS2 女性のストレス三処方の提案

SS3 睡眠障害の最新治療と漢方薬

SS4 診察室発・令和の女性の漢方処方

共催 産婦人科漢方研究会、(株)ツムラ

連絡先 第43回産婦人科漢方研究会学術集会 共催事務局

☎0120・329・9770 (対応時間:午前9時~午後5時)

半、平日のみ、ツムラお客様相談窓口)

Email: sanfujinka@mailsumura.co.jp

●第20回慢性・難病フォーラム

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 9月1日(日) 午前10時半~午後4時半

場所 大阪コロナホテル(大阪市東淀川区西淡路1-3-21)

会場 WEB(ZOOMウェビナー)によるハイブリッド開催

テーマ 高齢化社会における愁訴

内容

(基調講演)

【医古典からみる多様な高齢者の病態と漢方薬】

日本漢方交流会 終身師範 夜久 葉局 夜久 泰造

高齢になると治る体質の紹介、そして発症した若い時期に早く治す漢方

広島国際大学薬学部 生薬漢方診療学部門

国立病医機構呉医療センター 漢方診療科 中島 正光

(話題提供)

腎機能低下と夜間頻尿 広島漢方研究会 鉄村 努

高齢者における印象に残った症例 近畿鍼灸漢方研究会 夜久 公也

高齢者の消化器疾患について 徳島和漢薬研究会 須見 泰子

(情報提供) 須見 泰子、夜久 公也、鉄村 努

主催 一般社団法人日本漢方交流会

共催 一般社団法人日本生薬学会

問合せ 日本漢方交流会ホームページ「第20回慢性・難病フォーラム」

●日本漢方医学会第18回中医学研修講座―基礎の部

日時 9月7日(土) 午後6時～8時

会場 WEBによるライブ配信

内容 研修科目…臟腑辨証(Ⅰ)、臟腑辨証(Ⅱ)(菅沼栄)

共催 (株)ツムラ

事務局 (一財)東方医療振興財団事務局 03・62664・3016

E-mail: gakkai@jpho.or.jp

●日中薬研究会関西支部9月月例研究会

日時 9月8日(日) 午前9時～午後2時

会場 Zoomによる例会

内容 古典研究…傷寒金匱の流れについて、常用処方解説…未定

皇漢医学…半夏瀉心湯、平成薬証論…附子・括樓根等 他

解説/田中英樹 他

事務局 田中余以德斉薬局(三重県名張市榑町14011)

0595・63・0238 0595・63・0268

●京都漢方研究会第34期9月講座

日時 9月8日(日) 午前10時～午後4時

会場 会場受講とZoomによるハイブリッド開催

講座会場…京都薬科大学愛学館「愛学ホール」(京都市山科区)

内容 第1講・セルフメデイケーション領域の漢方―月経痛―(高橋宏和)、第2講・漢方製剤の品質評価(仮)(小太郎漢方製薬)、

第3講・ペインクリニック領域の漢方治療(中西美保)

事務局 松田久司 080・6866・6932、090・9624・

1669 075・762・5612(細野医院内 松田宛)

E-mail: matsuda_134@outlook.jp

●第51期東海漢方入門講座9月講座

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 9月8日(日) 午前10時半～午後4時半

会場 名城大学八事キャンパス(予定)

内容 誰にも分かる漢方基礎「五臓 肺」(林誠一)、咳嗽の漢方(中島幹夫)、方剤解説(陽を補う)(生田悠起)、生薬解説(黄連)

(箕輪暁美)

事務局 東海漢方協議会事務局・大見生薬(有)内(名古屋千種区)

052・722・2205 東海漢方協議会HP「お問い合わせフォーム」より

●第27回吉益東洞顕彰会

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(2単位)

日時 9月15日(日) 午前10時～午後3時半

会場 広島大学医学部霞キャンパス 広仁会館

内容 講演Ⅰ…鳥取吉益家(福嶋裕造)、講演Ⅱ…吉益東洞・南涯の

医説と薬方の応用―主に急性期を中心にして―(加島雅之)、

東洞祭…東洞碑に献花、特別講演…東洞先生はそうおっしゃ

いますが(織部和宏)

主催 日本東洋医学会

共催 広島漢方研究会、日本生薬学会

後援 東亜医学協会、日本医史学会

事務局 東洞顕彰会事務局 テツムラ漢方薬局 鉄村努

082・232・7756 082・291・7447

E-mail: info@tetsumura.jp

●第30回東京漢方教育研究センター9月講座

・研修認定薬剤師制度認定対象集合研修会

・漢方薬・生薬認定薬剤師研修対象講座(3単位)

日時 9月15日(日) 午前10時半～午後4時55分

会場受講(先着30名まで)と、Zoomによるオンライン受講(人数制限なし)のハイブリッド形式で実施。ホームページのGoogleフォームよりお申込み下さい。(申込みなしの当日参加不可)

会場 早稲田大学国際会議場第1会議室(新宿区西早稲田1-20-14)

内容 漢方の初歩：気血水の病と症状(石毛敦)、生薬解説・最近の生薬生産状況(佐橋佳郎)、処方解説・症例報告と解説(宇喜多和美・本山桂子)、康治本傷寒論解説：傷寒論90(中川智代)、特別講義：煎じ薬の魅力(千田五月)

連絡先 二宮理摩 ☎090・4392・7129

E-mail: tokyokampou@yahoo.co.jp

●日本漢方協会漢方総合講座(第33回)9月講座

日時 9月15日(日) 午前10時～午後4時10分

会場 東京都薬用植物園(東京都小平市)

内容 薬草園青空研修(小根山隆祥、熊井啓子)

事務局 一般社団法人日本漢方協会(墨田区両国2-17-19 PAZ両国6階) ☎/FAX 03・6659・9980 平日(月～木) 午前10時～午後4時迄 E-mail: jkampo@jeansoon.ne.jp

●藤門会

日時 9月21日(土) 午後2時～午後6時

会場 全水道会館5階(東京都文京区本郷1-4-1) 会場とZOOMによるハイブリット開催

内容 症例・研究報告(高間直彦)、奥田先生の「温疫論講義」(笹木司)、嘉子の部屋(高木嘉子)、古訓医伝(渡辺方乃)

連絡先 ジェーピーエス製薬(株)内 藤門会事務局 ☎045・593・2061 E-mail: shonistagau@tomonkai.com

●温知会月例会9月講義(第68回)

日時 9月21日(土) 午後6時～8時

会場 湯島聖堂・斯文会館(文京区湯島1-4、お茶の水駅至近)

内容 生薬解説：散寒薬 呉茱萸・胡椒・草果(飛奈良治)、『翻刻未定(班目有加・遠藤光史)、自由演題：演題未定(平馬直樹)』

問合せ ホームページの「お問い合わせフォーム」にて連絡

●九州漢方研究会令和6年9月例会

日時 9月22日(日) 午後1時～午後4時

会場 WEB配信と会場での開催(会場は事務局に確認)

内容 特別講演Ⅰ 朝起きが苦手なフクロウ型に対する実践的漢方治療(フクロウ外来から見えてくるもの)(恵紙英昭、特別講演Ⅱ 古典から学ぶ鍼灸漢方理論の臨床への応用(池田政一)

事務局 斉藤容子(招き猫調剤薬局) 福岡市中央区舞鶴1-8-11

☎070・8372・6637 FAX 092・406・4062

E-mail: kyusukampo@gmail.com

●山本巖流第三医学研究会(第45回)

日時 9月28日(土) 午後6時～8時

会場 WEB配信

内容 特別講演Ⅰ 第三医学の変遷(山本巖先生 生誕100周年に寄せて)(松原圭沙彦)、特別講演Ⅱ 山本巖先生との出会いと経緯(皮膚科漢方治療を中心に)(高橋邦明)

問合せ 大杉製薬(株) ☎06・6629・9055、

小太郎漢方製薬(株) ☎072・675・6121

●日本東方医学会 次のステップをめざす中医学研修講座

日時 9月28日(土) 午後6時～8時

会場 WEBによるライブ配信

内容 講義内容・気の昇降と臟腑―生理と病機、症例をまじえて―

(平馬直樹)

共催 クラシエ薬品(株)

事務局 (二財)東方医療振興財団事務局 Ⅷ03・6264・3016

E-mail: sakka@jphoto.or.jp

●第69回日本臨床漢方医学会 漢方家庭医講習会

日時 9月28日(土) 午後6時15分～7時半

会場 Zoom受講、参加予約: <https://kampo-ikai.jp/news/20240928/>

内容 心身一如を日常診療に生かす (渡辺賢治)

講演内容 心身一如を生かす漢方診療のコツについて

共催 日野市医師会、多摩市医師会、(株)ツムラ

問合せ (株)ツムラ 荒木 ☎080・6678・9861

●第34回漢方治療研究会

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座

(3単位)

日時 9月29日(日) 午前9時45分～午後3時半

会場 全電通労働会館(東京都千代田区神田駿河台3丁目6)

会頭 木村 容子(東京女子医科大学附属東洋医学研究所)

テーマ 現代の名医と先哲の医師を日常臨床に生かす秘訣

内容

〔特別講演〕

1. 藤平健先生の医師を日常臨床に生かす秘訣

証クリニック総院長

伊藤

隆

2. 松田邦夫先生の医師を日常臨床に生かす秘訣

東京女子医科大学名誉教授

佐藤

弘

3. 山本巖先生の医師を日常臨床に生かす秘訣

(ランチョンセミナー、クラシエ薬品株式会社共催)

広島国際大学薬学部 生薬漢方診療学講座教授・

国立病院機構 呉医療センター 漢方診療科 中島 正光

4. 森道伯先生の医師を日常臨床に生かす秘訣

温知堂矢数医院院長 矢数 芳英

〔一般演題〕4題、〔東亜医学協会賞表彰式〕

主催 東亜医学協会・東京女子医科大学附属東洋医学研究所

共催 一般社団法人日本生薬学会

後援 一般社団法人日本東洋医学会・公益財団法人日本薬剤師

会研修センター

問合せ 東京女子医科大学附属東洋医学研究所 ☎03・670

9・9024 E-mail: 34kanchiken@gmail.com

●柿田塾9月度定例会

「柿田塾定例会の再開は今のところ未定となっております。

詳しくは柿田塾ホームページをご参照下さい。」

連絡先 おのころ治療院内柿田塾・兵庫県淡路市志筑1138-6

☎0799・62・0990

(以上 敬称略)

注意・各会の参加要件・参加費用等は個々に異なりますので

必ず事前にご確認下さい。